



進路だより

R2.9.23
第2学年 6号
安古市高校進路指導部

<2年生の振り返り地点>

2年生の秋は進路意識の変化する時期だと言われている。いよいよ3年生に向けて進路を本格的に考える時期である。また、学習内容が今までよりさらに深く、進度も速くなり、学習面で差が付きやすい時期でもある。この秋を「受験生への切り替え地点」と位置づけ、進路意識を高めるとともにクラスの雰囲気作りをお互いが意識し合い、学校行事で培った活力でよい生活学習習慣を確立しよう。

<中間考査・進研模試に向けて ～5教科を意識した学習～>

いよいよ中間考査が始まり、その1ヶ月後には進研模試(10月31日実施)がある。高2生の夏休みから11月までは、高校3年間で学力変動が大きい時期の一つである。11月の進研模試はそうした時期のテストであるため、きちんと照準を合わせて臨むべき大切な模試といえる。また、このテストから地歴・公民、理科を含めた5教科受験がスタートする。5教科での総合力を測定し、新たな課題を発見できるのもこの模試の特徴である。

まずは中間考査の勉強をやり切り、考査後は復習をすることから進研模試に繋げていこう。また全統模試の反省を早速生かすチャンスでもある。受験生として良いスタートを切ろう。進研模試に向けて「地歴・公民、理科の受験科目」と「地歴・公民、理科の心得」を挙げておくので、しっかりと目を通しておこう。

【進研模試 地歴・公民、理科の受験科目】

| 文型 | 理型 |
|---|--------------------------------------|
| 倫理(60分) 世界史B or 日本史B or 地理B(60分) 理科基礎2科目(60分、生物基礎+地学基礎 or 化学基礎) | 地理B(60分) 化学(60分) 物理 or 生物(60分) |

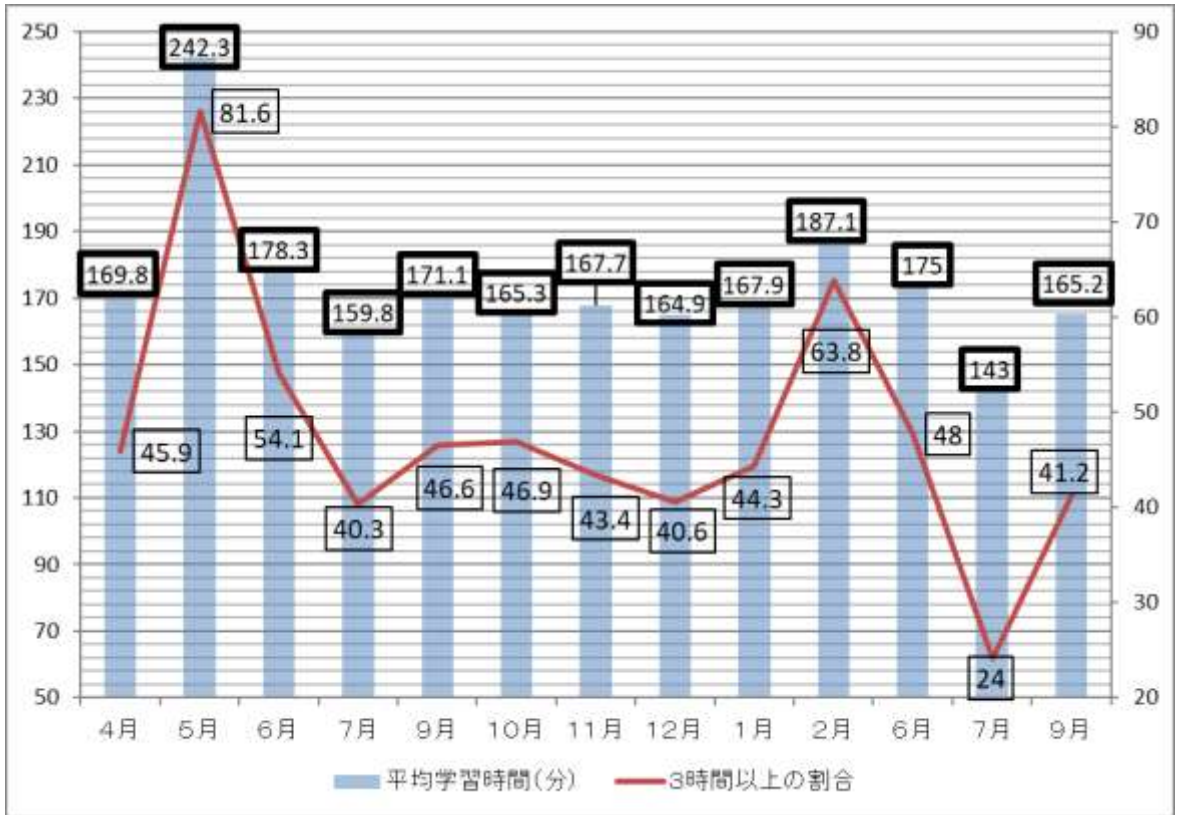
【地歴・公民、理科の心得】

その1：まずは授業を活用すること。授業の中で理解し、授業の中で実践力を鍛える意気込みで臨もう。

その2：中間考査の勉強を集中して行うこと。考査週間には地歴・公民や理科の試験勉強ができるよう、計画を立てよう。

その3：1学期の定期考査の見直しをして、半年間の学習内容を振り返ろう。

<学習量を確保しよう ～第3回生活学習記録調査より～>



上のグラフは、8/31(月)～9/6(日)の学習時間調査の結果である。1日の平均学習時間は165.2分(前回7月調査より+21分)、学習時間3時間以上の達成率は41.2%(+17.2%)であった。前回調査よりは良い結果となったが、未だに3分の2の生徒が3時間の学習時間を確保できていないということも結果として

出ている。まずは、8月26日(水)に行った学年集会で確認した「予習・復習を万全にして授業に臨むこと」「小テストや課題の質を高めていくこと」を実践していこう。また、学習時間のバランスが英語：数学：国語＝70分：70分：40分になっていくように、特定の教科に偏らず、苦手な教科こそ学習時間をとったり反復したりする学習方法を身に付けよう。

さらに、10/31(土)の進研模試では地歴・公民、理科も入ってくる。3時間未満の学習量で地歴・公民、理科もこなしていくのは不可能である。もちろん限られた時間をいかに効率的に使うかも重要である。しかし、「学習量」がないと学力の伸びは期待できない。各教科、何の教材を使って、一日どれくらい進めるか?を考えてみれば、おのずと時間が必要になってくるはずだ。次の調査で必ず挽回できるよう、生活習慣を見直そう。

